

カリキュラム・ポリシー

【学部】

- 1) 学生一人ひとりの個性を最大限に引出し、看護の資質である倫理性・公平性を有し、他と自分自身（己）を尊重できる人間性豊かな人材を育成する。
- 2) 看護学の基盤となる保健・医療・福祉及びその政策などを多面的に把握できる人材を育成する。
- 3) 看護学の専門的な知識・技術・研究能力とともに、問題解決のための科学的な思考である看護診断能力（アセスメント力、判断力、実践・評価力）及びマネジメント能力をもつ人材を育成する。
- 4) 地域に密着した保健・福祉・医療の現場で、学習した看護学を統合して実践・評価し、新たな看護・医療の発展に寄与できる人材を育成する。

【大学院】

- 1) 慢性疾患をもつ人々やその家族を支えるための高度な実践力とその分野における組織力、指導力、さらには研究能力をもつ人材の育成
- 2) 地域に根差した看護サービスの組織・運営、社会資源の開発、生活習慣病予防および介護予防対策の開発、改革ができる人材の育成
- 3) 女性とその家族を中心にしたケアをパートナーシップをもって提供できる自立した助産師の養成及び育成
- 4) 複雑化、専門化する周産期医療のもとで多様化するニーズに対応できる高度な判断力と実践力をもつ助産師の育成
- 5) 地域医療、保健、福祉に幅広く貢献できる人材の育成
- 6) 国際化時代に対応できるグローバルリテラシー（コミュニケーション・情報分析等）をもつ人材の育成